

隠岐の島町立五箇小学校 心に残る文化財子ども塾

1. 活動の概要

5月30日(水)、隠岐の島町立五箇小学校の6年生のみなさんと、「昔の人々の生活を体験しようー五箇の古墳と勾玉作りに挑戦！」と題して、学校周辺の古墳や古墳時代の生活について学びました。

当日は、まず教室で隠岐の島町の遺跡や古墳について学び、児童からは学校周辺に 50 基以上の古墳があることに驚きの声があがりました。続いて古墳の発掘調査で出土した土器や勾玉を用意し、普段見ることができない実物の出土品を間近で見学しました。また、勾玉の歴史や古代出雲の玉作りの歴史を解説し、勾玉のもつ意味や形の不思議さ、古代の出雲が勾玉作りの中心地であったことの理解を深めてもらいました。

その後、教室から渡り廊下に移動し、勾玉作りの古代体験活動を行いました。最初は思うように石を削れなかったり石に穴をあけることを怖がっていた児童もいましたが、コンクリートブロックや様々なヤスリで石を削り続け、仕上げに段ボールで磨いてオリジナルの勾玉を作ることができました。最後はみんなで古代衣装を着て記念写真を撮りました。昔の人は道具もない時代に、どうやって固い石に穴をあけて磨いたのか実感してもらうなど、当時の人々の生活を考えるうえで貴重な経験になったと思います。

今回参加して下さった五箇小学校の児童や先生、準備や講師としてご協力をいただいた隠岐の島町教育委員会のみなさん、ありがとうございました！

2. 活動の様子



↑「隠岐には珍しい遺跡がたくさんあります」



↑「うまく削れないヨー」



↑「みんなで記念写真 はいポーズ！」



↑「ステキな勾玉ができました」

3. 活動を終えて

① 児童の皆さんから(心に残ったこと)

- ・ 隠岐の島や五箇の古墳がわかってよかった。
- ・ 古墳から出土した本物の土器や勾玉が見られた。
- ・ 勾玉作りが家に持って帰ってまだ磨いているほど楽しかった。
- ・ 昔の人は穴をあける道具もないのに、どうやって固い石で勾玉を作ったか不思議
- ・ 他にも管玉作りや土器作り、竪穴住居もつくってみたい。
- ・ もっと島根や隠岐の昔のことが知りたい。

② 担任の先生から

- ・ 古墳時代の様子や古代体験を通じて、普段の授業では聞けない当時の人々の生活の様子なども考えることができました。
- ・ 実際に本物の勾玉や土器を見られる機会もあり、子どもたちにも貴重な経験となりました。

③ 埋蔵文化財調査センターから

児童から、身近なところにたくさんの古墳や出土品があることへの驚きの声があちこちで上がりました。また、勾玉作りの古代体験も、まわりに白い粉をまき散らしながらやりとげることができました。

今回の学習が、地域の歴史や文化について興味や誇りを持ち、それを大切に守っていこうというきっかけになってもらえたらと思います。